

委員会活動報告

所管事務調査

委員会では、所管する事務について調査を行い、その成果を本会議から付託された議案等の審査に生かしています。



野生動物育成林整備事業現場を視察（揖保川町金剛山）

《下水道事業特別委員会》

調査実施日 平成23年7月8日(金)

調査内容 皮革排水処理の工程及び関係施設等の稼働状況の調査

《総務文教常任委員会》

調査実施日 平成23年8月23日(火)

調査内容 消防行政について

《生活福祉常任委員会》

調査実施日 平成23年9月7日(水)

調査内容 新病院建設の進捗状況について

《経済建設常任委員会》

調査実施日 平成23年10月18日(火)

調査内容 有害鳥獣(鹿・猪等)捕獲等対策事業について

管外行政視察

委員会では、所管する事項について先進地の優れた行政を視察・調査することを通して、議会活動の一層の充実とまちづくりに役立てています。

《総務文教常任委員会》

視察日 平成23年10月18日(火)～10月20日(木)

視察先／視察事項

- ・旭川市（人口約35万3千人）旭川市科学館と生涯学習情報システムについて
- ・小樽市（人口約13万3千人）移住促進事業について
- ・札幌市（人口約189万5千人）市民防災センターについて

視察事項に対する主なQ&A

旭川市 「旭川市科学館と生涯学習情報提供システムについて」

問 パソコン操作やインターネットに対して、年配者の人は苦手であるが、市全体として対応しているのか。

答 市としては特に対応していない。地域の会合や出前講座などで研修会を開いていきながら、覚えていただきたい。

問 生涯学習情報提供システムにより、どのような効果があったのか。

答 これまで団体等の台帳等が紙ベースであったものがパソコンで見れるようになり、市民の相談等に迅速に対応できるようになった。また、パソコンが使える方は自分で知りたい情報を得ることができるようになった。

小樽市 「移住促進事業について」

問 平成17年から「おたる移住・交流推進事業」をしているが、この事業を継続していくうえで、今の悩みはあるのか。

答 若者の流出が一番の悩みである。若者は、地元の就職先がなく、特に隣の市である札幌市に出ている。若者の雇用が小樽市の課題である。

問 雇用が問題となっているが、企業誘致はどのようにしているのか。

答 札幌に近いところに、広大な土地があるため、企業誘致により、何社か来ている。また、小樽市内の空いている土地を有効活用した地元産業の向上に力を入れているが、うまく進んでいない。



小樽市議会での視察



札幌市民防災センターでの視察（消火体験）